

風評被害を吹っ飛ばせ②～産地の信頼と販路の回復・拡大(県内版)～

前号(2015-15号)では、県外への販路拡大の取組みについて報告しました。本号では、県内の販路拡大の取組を報告します。

1 盛岡広域まるごとフェア(10/3～10/4)

盛岡広域商工団体主催により盛岡市歴史文化館周辺で開催され、生産者と共に原木しいたけのPR販売を行いました。

試食提供は炭火の塩焼きで、来訪者の「美味しい」の一言が生産者の笑顔とエネルギーにつながります。



2 もりおか広域地域の食de交流マルシェ(10/6)

盛岡市と振興局企画総務部が主催した標記マルシェに原木しいたけ生産者と共に参加し、原木しいたけのPR販売を行いました。

会場となった飲食店による原木しいたけ料理の試食のほか塩焼きも実施し、直接来訪者に食べてもらう事で、反応に手ごたえを感じたところです。新たに原木しいたけをメニューに取り入れてくれた飲食店もあり、取引増や消費増に期待しているところです。

3 盛岡市農業まつり(10/31～11/1)

乾しいたけのクリーム煮などの試食を提供し、PR販売を行いました。試食の効果で、乾しいたけの売り上げは今年の約2倍と好評を博しました。また、来場者アンケートでは優秀賞に輝くなど、原木しいたけ人気定着が窺えます。

「どこのお店に行けば買えるの?」といった声も聞かれ、PR効果を活かす取組が必要と感じられました。

4 地産地消しいたけフェア(11/14～11/15)

道の駅石神の丘において、岩手町椎茸生産組合が中心となり、岩手町産原木しいたけのPR販売を行いました。

実施内容は試食販売とパネル展示、レストランでの原木しいたけメニュー特別提供、親子料理教室の開催などです。いずれも盛況で、これまでのPRにより、町産原木しいたけの美味しさが定着しつつあるようです。



5 おわりに

安全安心のPR活動により、徐々に風評被害を克服しつつあります。今後も販路拡大等の取組を進めていく予定です。